

そよかぜ 9月 園便り

令和6年9月2日（月）

西東京市立そよかぜ保育園

大きな地震や、台風の上陸、35℃を越える猛暑に突然の豪雨...
日々自然の脅威を感じる8月でした。

9月はどんな月になるでしょうか。季節が変わり、空の高さも雲の形も、咲いている花も吹く風も変わっていくことでしょう。そんな自然からいろいろなことを感じて、心地よく体を動かし、心身ともに健やかに過ごしていきたいと思います。

8月29日は「魚の日」を実施しました。

今そよかぜで特に大切にしている「和食」への取り組み。その中で「魚」を食べる機会がグンと増えています。そこで今回は色々な種類の「魚」を子どもたちの目の前で捌いて・焼いて・食べました。先月の園日より「本物に触れること」で自分たちが普段食べている食材に興味関心を持ち、その料理ができるまでの過程や命をいただいていることへの思いなどを感じてもらいたい...といったお話をさせていただきましたが、今回も子どもたちは目を輝かせて大きさや形の違う魚に興味津々の様子で見つめていました。

さて、今回登場した魚のラインナップをご紹介します。

鯛 鰯 トビウオ カンパチ イカ（魚ではありませんが、子どもたちの人気は高かった！）

改めてなぜこの名前がついているのか、ちょっと調べてみました。

鯛 水から出すとすぐに弱ってしまうこと（傷みが早い）から、「弱い」という漢字が当てられたようです。今回はその場で叩いてつみれに。つみれ汁にして食べました。

鰯 アジの一番美味しい季節が旧暦の三月ということで漢字の「参」を使った、「美味しくて参ってしまう」ことから「参」という漢字を使ったという説もあります。

トビウオ 海面から飛び出して胸ビレ（これが羽のように見える）を広げて滑空することからこう呼ばれています。捌く前に胸ビレを広げて見せると、子どもたちの目がますます輝きました。

カンパチ 正面から顔を見ると数字の「八」のような模様が眉間にあることから「間八」と呼ばれるようになったとのことです。成長過程で名前が変わり、ショッコ→シオゴ→アカハナ→カンパチとなります。カンパチは給食でもよく登場するお馴染みの魚。塩焼きにして美味しくいただきました。

イカ 漢字では「烏賊」と書きます。イカは危険を察知すると、鳥のように黒い墨を吐いて逃げる習性に由来していると言われていました。網の上で焼くと、途端にクルンと丸くなり、皆不思議そうに見ていました。

捌いている時も焼いている時も子どもたちにとっては「これってどうなってるの?」「何でこうなるの?」と不思議がいっぱい。この「何で?」をこれからも大事にして、そこから私たち自身も学びを深めていきたいと思います。

▼ 魚の日



▼ 毎週金曜日更新 Blog について

毎週、“園行事”や“お散歩に行っている公園の紹介”などを Blog にて行っています。PC やタブレットでご覧の場合はカテゴリーが見やすくなっております。『魚の日』のお話も写真と共に載せますね。

<https://soyokaze-hoikuen.net/>



9月の行事

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
		年長四園交流	布団乾燥 中学生職場体験	中学生職場体験		
15	16	17	18	19	20	21
	敬老の日	お月見会	年長園外 お泊り保育	年長園外 お泊り保育		
22	23	24	25	26	27	28
秋分の日	振替休日			誕生会 避難訓練 中学生職場体験	中学生職場体験	
29	30					

異常な厚さに残暑 そして居座り続ける 台風

8月は 何度大雨に遭遇しただろう。昨夜も冠水した道路をゆっくりと車を走らせ、自宅に向かった。対向車が撥ねる水しぶきをよけるその一瞬。ハンドルを握る手に力が入り、「落ち着いて！」と自らに声掛けながら、無事に帰宅。1時間近く冠水した道路を走行したのは、人生初の体験。カーラジオから「多摩北部に・・警報発令」「埼玉西部に・・警報発令」等々 次々と入る注意報を聴きながら帰宅することが出来ました。

人の感情の基礎は 3歳まで に育つと言われてています。

一人一人の子どもの気持ちに心の育ちに寄り添い、育ち合いを重ねていきたいですね。

Aちゃんたちがブロックを積み遊んでいる所へやってきたBちゃん。欲しかったブロックを「スッ！」と持ち去り、大騒ぎ。「返して・・・」とケンカが始まりました。

それまでの静けさは一変し、クラスは騒然としています
ややあって 「ごめんね」・・・「いいよ」 やっと仲直り 何事もなかったように遊びが始まります。楽しそうに遊んでいる所に入りたかったBちゃんと、とられて嫌だったAちゃんの気持ちがぶつかり、騒ぎになったのでしょうか。あるいはちょっとしたいたずら心を持ったBちゃんの気持ちがそうさせたのでしょうか。仲間に入りたいけど入れない・・いれてって言えばいいんだけどなかなか言えない。・・・葛藤の繰り返しです。

食事の場所を巡っても、座りたい場所があります。「〇〇ちゃんの隣がいい」と、なかなか座る場所が決まらないCちゃん。誰かの「ここ 空いてるよ!」「こっちも!」と優しい声が聞こえてきます。「でもここが・・・」と困り顔のCちゃんも、みんなの提案に、「今度ね!」と場所が決まり、一件落着!「いれて!」「ダメ!」 しょんぼりする子へ、「もう一度 お願いしてみたら」と大人の励ましに勇気を出して「いれて!」・・・「いいよ!」・・・にっこり笑顔になりました。

様々な葛藤を乗り越え、自分の気持ちと相手の気持ちを重ね、自分の気持ちを言葉に変え、伝え方を工夫していきます。大人は「喧嘩はしない。仲よくね!」と言いたくなりますが、子どもは「嫌だ」を表現する処から始まります。「いや」と「いや」が重なった時お友達にも同じ「いや」の気持ちがある事を知ります。その気持ちの重なりを解きほぐし、「いいよ」と、友達を思いやる気持ちに変えていく。とても大切な瞬間です。

9・11

9・11は僕の誕生日だ
でも2年前から
米同時多発テロの日になった
僕にとって 嬉しい日が
テロや報復の日なのは 悲しい
9・11は
世界中の人たちが
平和を考える日になってほしい

(新潟 中1 男児)
(詩集 ことばのしっぽより)

職員のつぶやき

私は4月からそよかぜ保育園の栄養士として働き始めました。初めての職場でドキドキでしたが、園内に響く子どもたちの楽しそうな声に、日々癒され、穏やかに過ごしています。

園の給食で驚いたことは、和食献立の充実、特に魚の種類豊富とその味です。実際に、8月の献立には メダイ、鮭、かんぱち、メカジキ、さわら がでました。普段家庭では食べないような魚を園で食べることが出来、子どもたちと一緒に食経験が広がりました。

【きょうのおさかな】と題して実寸大の魚の写真やイラストを掲示しているので、「この魚を食べるんだ」という意識も芽生えます。また8月の末には【魚の日】を行います。そのままの姿の 鯛、鰯、太刀魚、かんぱち、イカ を子どもたちの前で捌き、炭火で焼いて給食で頂きます。このような食育活動を通して、食経験を広げる場を作る必要性を深く感じました。

調理でも魚を最大限においしく食べられるように、その日の食材に合わせて、味付けや焼き加減を都度変えながら工夫しています。一つ一つ大切にしている事を知り、さらに魚が好きになりました。

園で様々な魚を食べて、子どもたちにも興味を広げ、好きになってくれたらうれしいです。これから行う鮭捌き、味噌つくりや餅つきなどでも子どもたちと共に経験を深めていきたいです。

西東京市立そよかぜ保育園 根津 はある